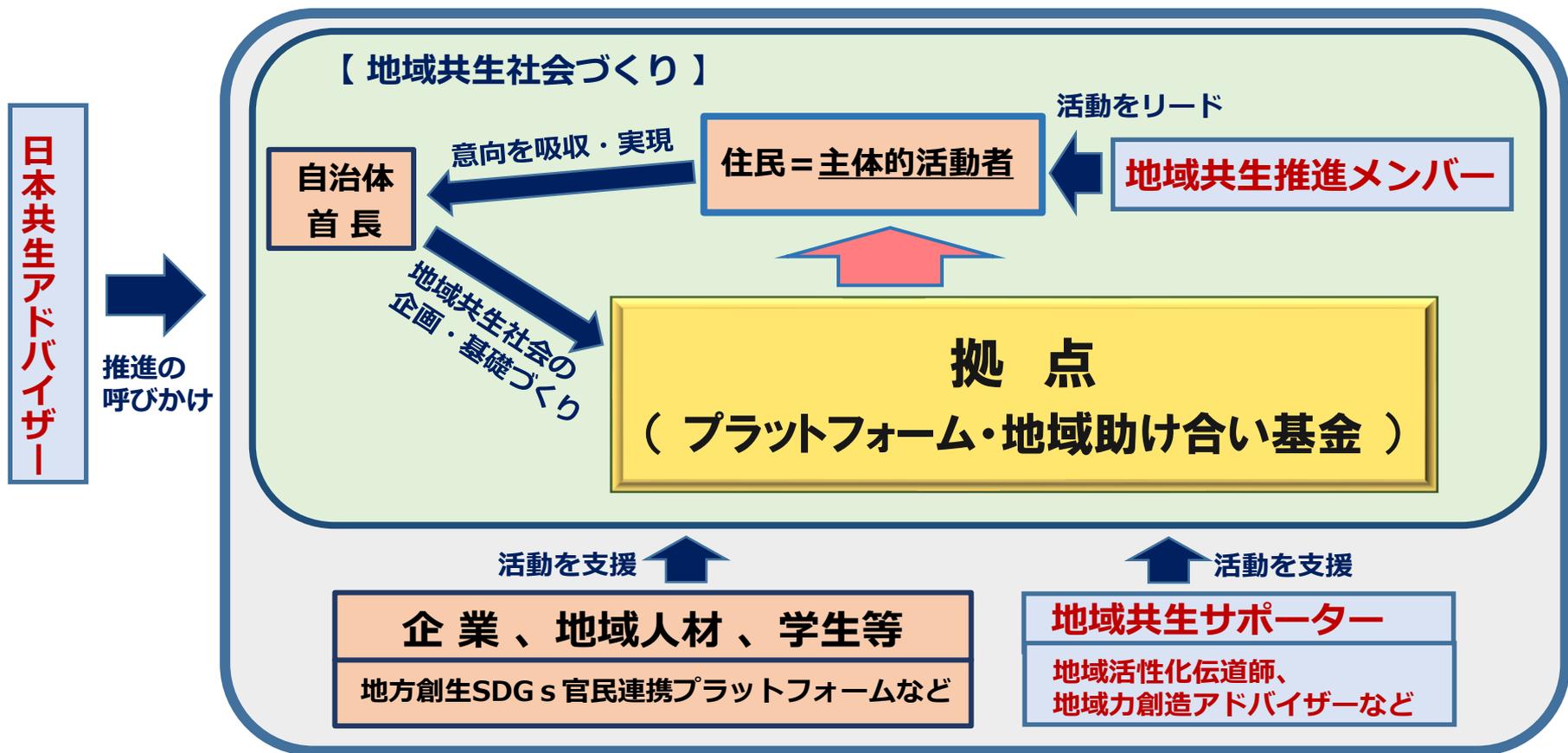


地域共生社会実現に向けて



1. 地域共生社会づくり推進体制



- アドバイザーやサポーター、推進メンバーが地域共生社会づくりを支援
- 日本共生アドバイザーの役割：高い視点から地域共生社会づくりへの参画を呼び掛け
 - 地域共生サポーターの役割：それぞれの地域における地域共生社会づくりを支援
 - 地域共生推進メンバーの役割：地域共生社会づくり活動をリード

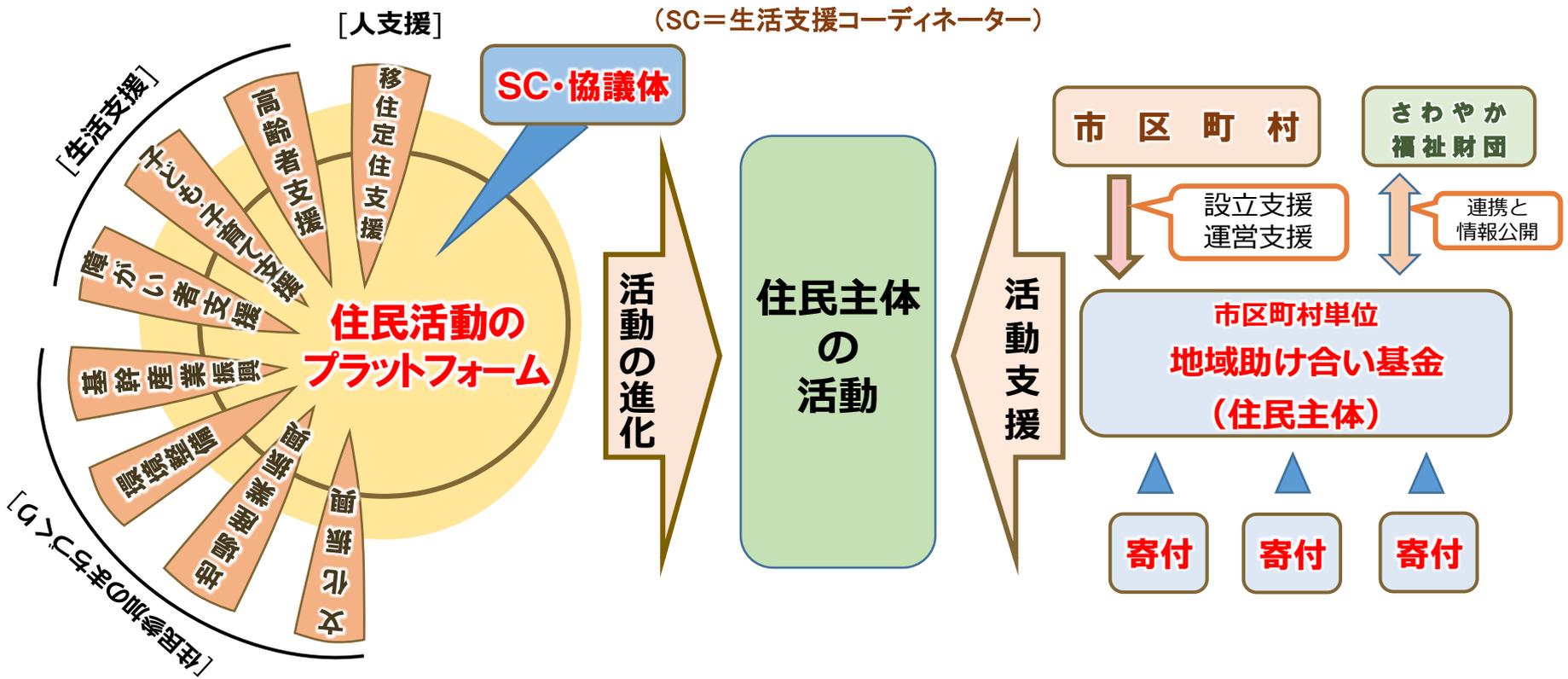
2. 地域共生社会づくり推進のための仕組み

【プラットフォーム】

- ・地域共生に資する住民活動及びそれを支援するものが連携する場
- ・情報交換により各分野の住民活動が有機的に連携・協働して展開されることとなる

【地域助け合い基金】

- ・金・情報・人・モノの支援により住民の活動を活性化



3. 住民活動のプラットフォームのイメージ

プラットフォームの活動で
誰もが幸せになる地域共生社会へ

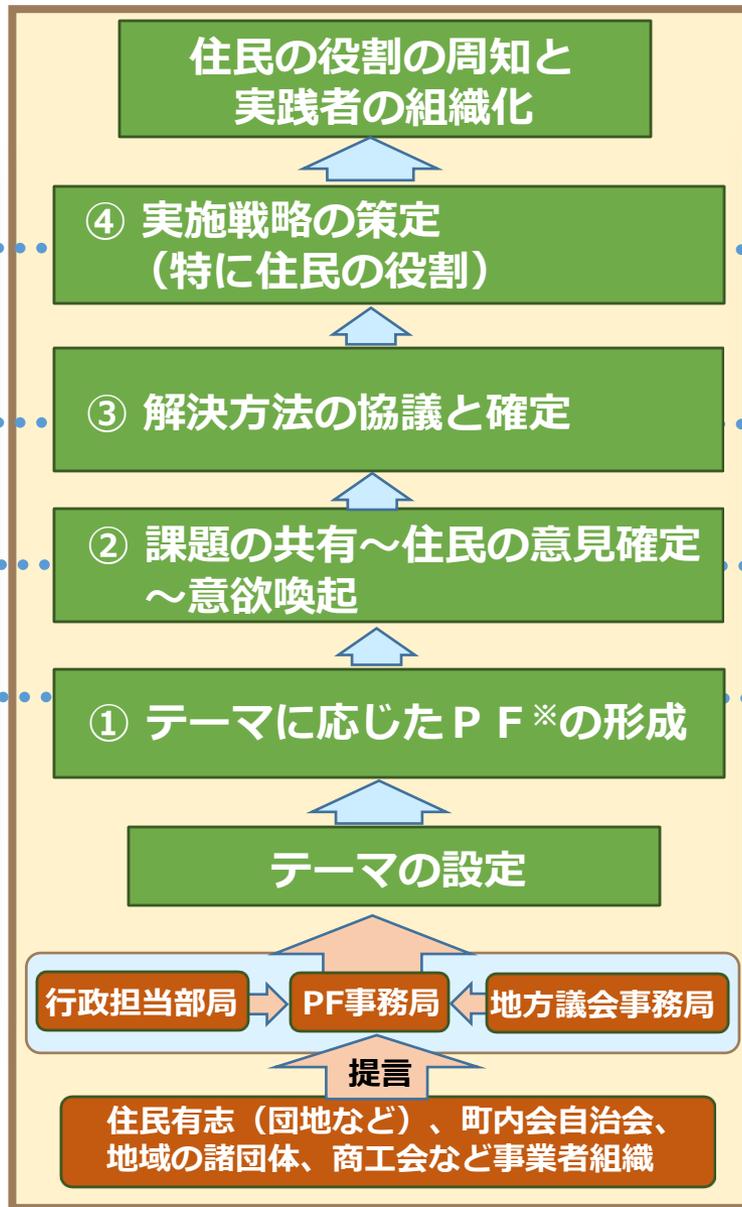
④ 場所の確保、運営協力者
・参加者の確保、資金の
確保（基金の拠出）

③ 立上げ・運営者の確保
行政の支援方法の確定

② 住民フォーラム・懇談会
などで住民意思の確定

① 地域包括関係者、
関係福祉分野担当、
住民有志（自治会、
NPO）など

例 1 : 共生の居場所



※ PF = プラットフォーム

④ 円滑な空き家への移住

③ 空き家利用権の確保
（行政主導+住民協力）
移住者受入体制
（住民主導）

② 移住者用住宅確保へ
住民の協力意思確認

① 関係行政担当、
住民有志（自治会、
NPO）、司法書士など

例 2 : 移住促進のための
空き家の活用